学校番号	3036

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数物理特講Ⅱ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版 総合物理１・２　（数研出版）						
副教材等	セミナー物理基礎＋物理　（第一学習社） 物理重要問題集―物理基礎・物理―（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

第３学年で習う物理は、直接目で観察できない現象がほとんどです。想像力をはたらかせ、ひとつひとつの現象をイメージすることが大切です。また、そのイメージと学ぶ公式をすり合わせ正しく理解することが重要と思います。
一年間くじけず頑張っていきましょう。

2　学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら、様々な物理現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
・様々な物理現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	物理の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然の物理的な事物や現象について関心をもち，意欲的にそれらを探究する態度を身につけようとしている。 また，学んだことを一般化し理解を深めるようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	力学	単振動	a:正しく運動方程式を立て、運動を理解することができる。 b:運動方程式・エネルギー保存則を用いて複雑な運動を理解し、自身の考えを論理立てて表現できる。 c:自身の理解を振り返り、学んだことを把握できる。	定期考査	定期考査	振り返り 宿題
	電気	静電気力と電場･電位	a: 電場・電位などの定義を理解し、扱うことができる。 b:電場・電位の考え方を用いて、様々な状態での物理量を求めることができる。 c:自身の理解を振り返り、学んだことを把握できる。			
		コンデンサー				
		直流回路・半導体				
2学期	磁気	磁場	a: 荷電粒子が磁場から受ける力を正しく理解できる。また、回路素子のはたらきを理解できる。 b: 荷電粒子が磁場から受ける力を元にして生じる現象を理解し、正しく表現できる。 c: 自身の理解を振り返り、学んだことを把握できる。	定期考査	定期考査	振り返り 宿題
		電流のつくる磁場				
		電流が磁場から受ける力･ローレンツ力				
		電流が磁場から受ける力･ローレンツ力				
		電磁誘導の法則				
		自己誘導と相互誘導				
		交流回路・電磁波				
	原子	電子・光の粒子性	a:現代物理学の基礎となる知識を理解することができる。 b:光の粒子性や物質の波動性を理解し、そこから導かれる結果を元に現象を理解できる。 c: 自身の理解を振り返り、学んだことを把握できる。			
		X 線･粒子の波動性				
		原子と原子核				

		放射線とその性質 核反応と核エネルギー 素粒子				
3学期	演習	共通テスト対策演習 二次試験対策演習	a:様々な現象を高校物理の切り口で解釈できる。 b:思考力を要する複雑な現象であっても高校物理の 知識・技能を用いて解釈し、自身の理解を表現できる。 c: 自身の理解を振り返り、学んだことを把握できる。	配布プリント等の学習状況	配布プリント等の学習状況	振り返り 宿題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度